



# 県内経済情勢報告

平成 3 1 年 1 月

財務省東北財務局秋田財務事務所

## 県内経済情勢報告の調査方法の概略

### ◆調査対象・期間

前回(平成30年11月1日発表)以降に公表された指標と、今回判断(1月下旬)までのヒアリング情報

### ◆資料の分析とヒアリング調査

#### ①各種指標を網羅した資料・計数分析

当局で直接調査している法人企業景気予測調査(回答企業96社)に加え、各関係機関が調査公表している各種の調査指標を詳細に分析。

#### ②県内企業へのヒアリング調査実施

各調査項目すべてにおいて広範かつ深度あるヒアリング調査を実施、県内企業からの協力を得て基本的には実際に訪問して状況を聴取。

対象は主要企業のみならず中堅・中小企業にも実施。

上記により定量面・定性面を併せて分析し、経済情勢を立体的に判断。

なお、本報告の設備投資、企業収益、企業の景況感については、平成30年12月11日公表した「法人企業景気予測調査(平成30年10-12月期)」の結果を活用しており、計数や判断コメントは12月に発表した内容と同じである。

## － 秋 田 県 の 経 済 概 況 －

### ■ 総論

#### 【総括判断】 「県内経済は、持ち直している」









項 目	前回(30年10月判断)	今回(31年1月判断)	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	

(注) 31年1月判断は、前回30年10月判断以降、31年1月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

#### (判断の要点)

個人消費は、コンビニエンスストア販売、家電販売、乗用車販売などが前年を上回っていることなどから、持ち直している。生産活動は、電子部品・デバイスが高水準であること、輸送機械が増加していることなどから、緩やかに持ち直している。雇用情勢は、有効求人倍率が高水準で推移していることなどから、改善している。

#### 【各項目の判断】

項 目	前回(30年10月判断)	今回(31年1月判断)	前回比較
個人消費	持ち直している	持ち直している	
生産活動	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
雇用情勢	改善している	改善している	
設備投資	30年度は増加見通し	30年度は増加見込み	
企業収益	30年度は減益見通し	30年度は減益見込み	
企業の景況感	「下降」超に転じている	「上昇」超に転じている	
住宅建設	前年を上回っている	前年を上回っている	
公共事業	前年度を上回っている	前年度を上回っている	

#### 【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果等を背景に、景気が回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性などに留意する必要がある。

## ■ 各論

### 1. 個人消費 … 持ち直している

**百貨店・スーパー販売**は、飲食料品が底堅く推移しているほか、高額品にも動きがみられることから、持ち直している。

**コンビニエンスストア販売**は、調理麺や総菜が好調となっていることから、前年を上回っている。

**ドラッグストア販売**は、日用品や飲食料品が好調となっていることから、前年を上回っている。

**ホームセンター販売**は、建築資材等が堅調であるものの、除雪用品が低調となっていることから、前年並みとなっている。

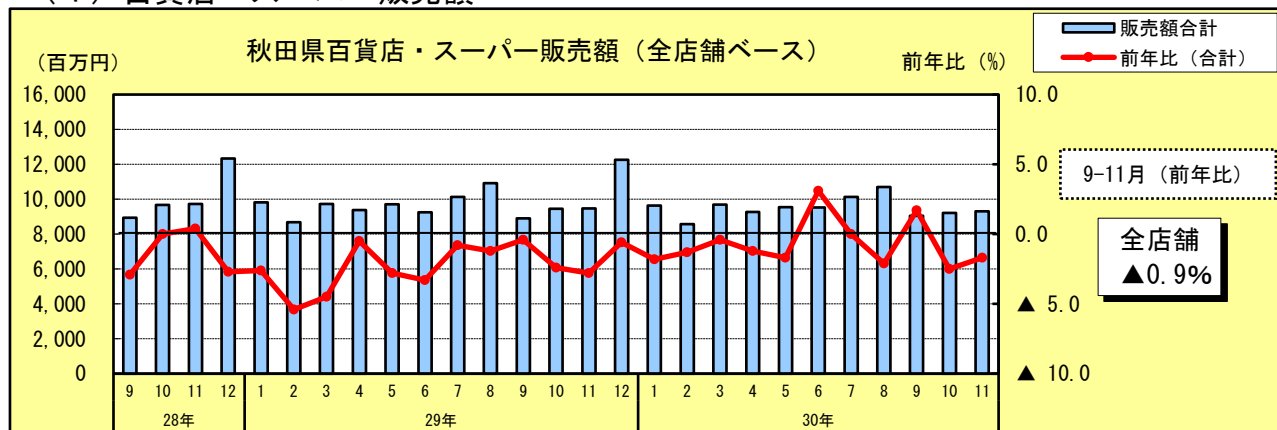
**家電販売**は、テレビやスマートフォン等が堅調となっていることから、前年を上回っている。

**乗用車販売**は、普通車、小型車、軽自動車とも前年を上回っている。

**旅行取扱の状況**は、海外が堅調となっている。

このように、**個人消費は、持ち直している。**

#### (1) 百貨店・スーパー販売額



『百貨店・スーパー販売額（全店舗ベース）』

（前年比：%）

区分	全国	東北	秋田県	衣料品	身の回り品	飲食料品	家庭用品	その他の商品
28年	▲ 0.4	0.1	▲ 0.3 (▲ 0.5)	▲ 5.1	▲ 7.3	1.0	▲ 1.9	▲ 2.5
29年	0.0	▲ 0.8	▲ 2.2 (▲ 2.2)	▲ 7.0	▲ 2.8	▲ 1.3	▲ 6.6	▲ 2.8
29. 10-12	0.7	▲ 0.4	▲ 1.8 (▲ 1.8)	▲ 6.0	▲ 1.3	▲ 0.8	▲ 5.9	▲ 3.0
30. 1-3	0.4	▲ 0.3	▲ 1.2 (▲ 1.2)	▲ 7.6	▲ 7.7	0.3	▲ 3.6	▲ 3.0
4-6	0.2	▲ 1.0	▲ 0.0 (▲ 1.5)	▲ 3.9	▲ 3.3	▲ 0.4	0.7	5.9
7-9	0.2	0.8	▲ 0.2 (▲ 1.6)	▲ 7.8	▲ 7.4	0.2	▲ 0.3	3.2
30. 7	▲ 1.0	▲ 0.2	0.0 (▲ 1.4)	▲ 6.6	▲ 6.9	0.4	0.8	3.4
8	0.6	▲ 0.4	▲ 2.1 (▲ 3.4)	▲ 12.6	▲ 7.6	▲ 1.4	▲ 2.0	0.1
9	1.1	3.3	1.7 ( 0.3)	▲ 4.8	▲ 7.7	2.0	0.1	6.8
10	▲ 0.2	▲ 2.1	▲ 2.5 (▲ 3.8)	▲ 9.3	▲ 5.9	▲ 1.9	▲ 4.7	1.4
11	▲ 1.7	▲ 1.2	▲ 1.7 (▲ 3.0)	▲ 6.1	▲ 9.6	▲ 1.4	▲ 5.2	2.7

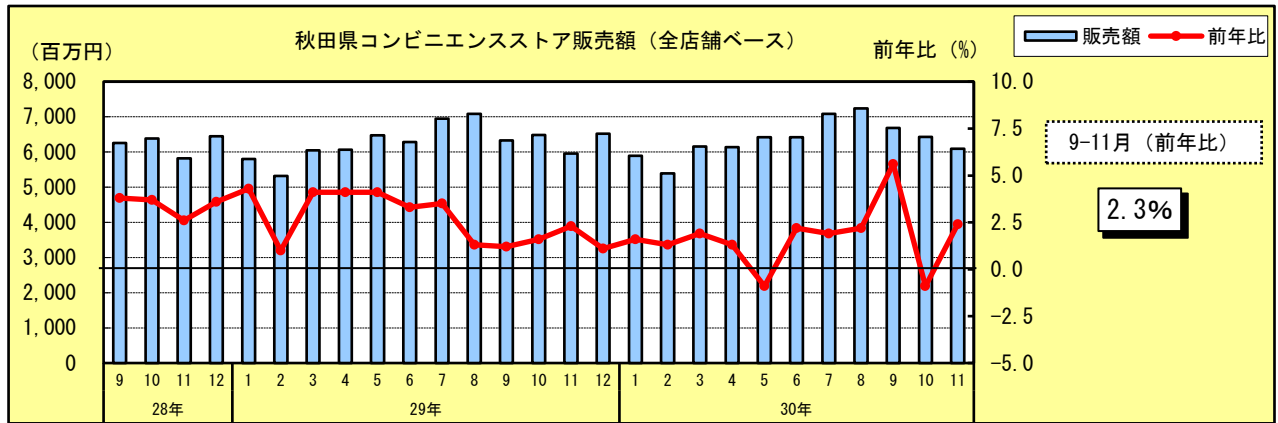
(注) 1. 前年比の( )書きは既存店ベース

2. 29年分は年間補正済

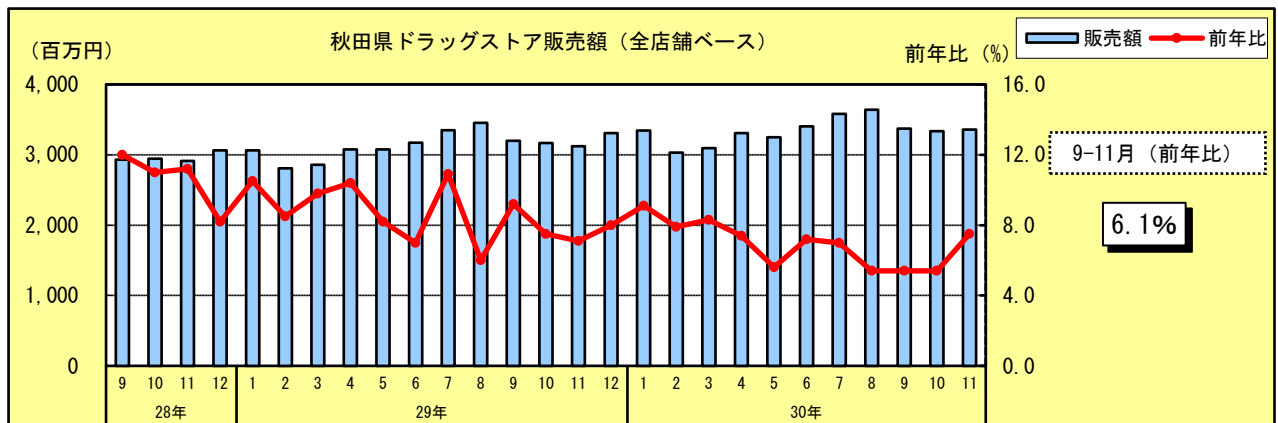
3. 家庭用品は、家具、家庭用電気機械器具を含む

【資料出所：経済産業省、東北経済産業局】

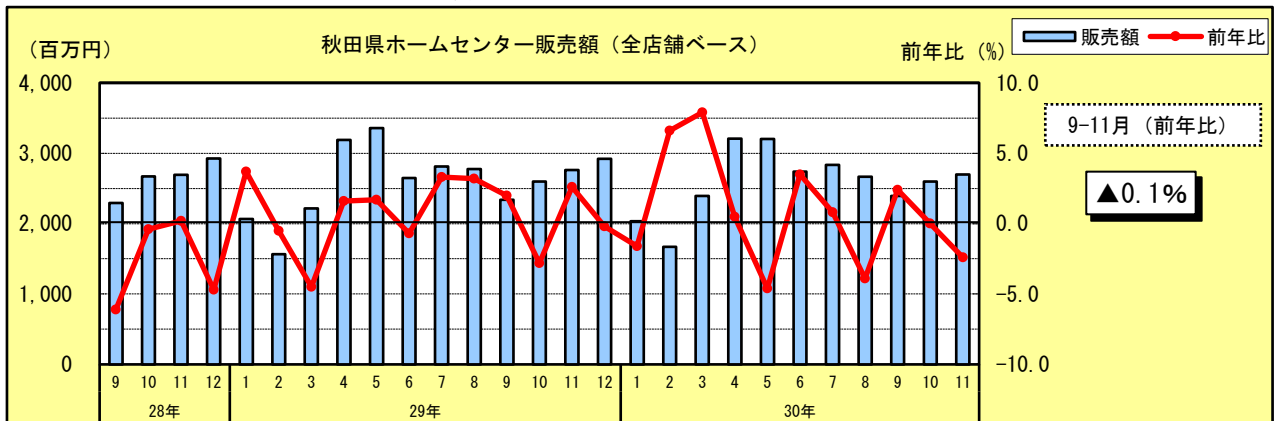
## (2) コンビニエンスストア販売額



## (3) ドラッグストア販売額



## (4) ホームセンター販売額



『コンビニエンスストア販売額(全店舗ベース)』

区分	(前年比: %)		
	全国	東北	秋田県
28年	4.1	2.8	-
29年	2.4	1.4	2.6
29.10-12	1.4	0.0	1.7
30. 1-3	2.1	0.1	1.6
4-6	1.6	▲0.2	0.8
7-9	2.6	1.7	3.2
30. 7	1.3	0.3	1.9
8	2.2	2.0	2.2
9	4.5	3.1	5.6
10	0.0	▲2.2	▲0.9
11	2.0	0.8	2.4

『ドラッグストア販売額(全店舗ベース)』

区分	(前年比: %)		
	全国	東北	秋田県
28年	6.8	5.7	11.5
29年	5.4	6.3	8.5
29.10-12	6.1	5.8	7.6
30. 1-3	7.4	6.7	8.4
4-6	5.9	6.1	6.7
7-9	5.3	5.4	6.0
30. 7	6.0	5.5	7.0
8	5.2	5.8	5.4
9	4.6	5.1	5.4
10	6.5	5.1	5.4
11	4.8	5.1	7.5

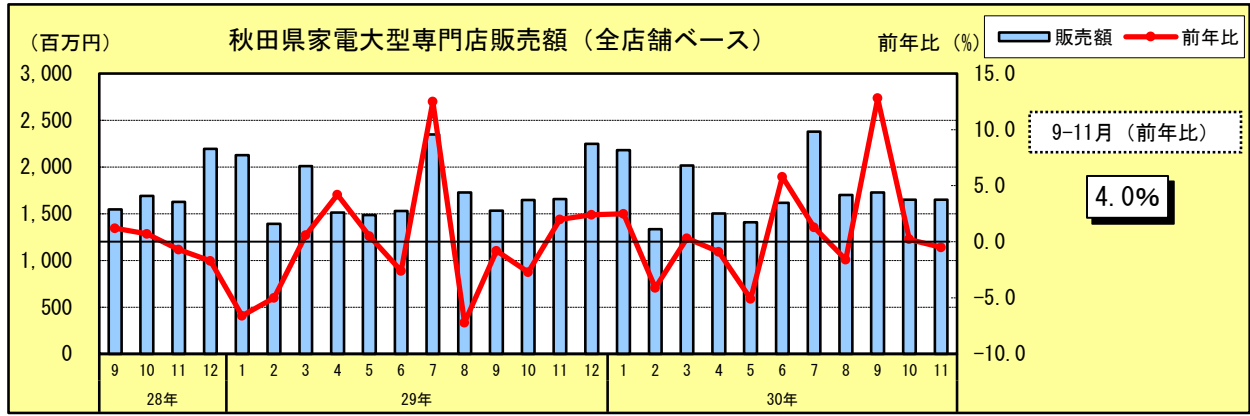
『ホームセンター販売額(全店舗ベース)』

区分	(前年比: %)		
	全国	東北	秋田県
28年	0.2	▲0.5	▲1.5
29年	▲0.4	▲0.4	0.8
29.10-12	▲0.8	▲0.2	▲0.1
30. 1-3	▲0.3	0.6	4.2
4-6	▲1.9	▲1.7	▲0.5
7-9	0.9	▲0.8	▲0.4
30. 7	0.8	▲1.3	0.8
8	▲1.3	▲1.7	▲3.9
9	3.4	1.0	2.4
10	5.7	0.7	0.0
11	▲2.2	▲3.6	▲2.4

(注) 29年分は年間補正済

【資料出所: 経済産業省、東北経済産業局】

(5) 家電大型専門店販売額



『家電大型専門店販売額(全店舗ベース)』

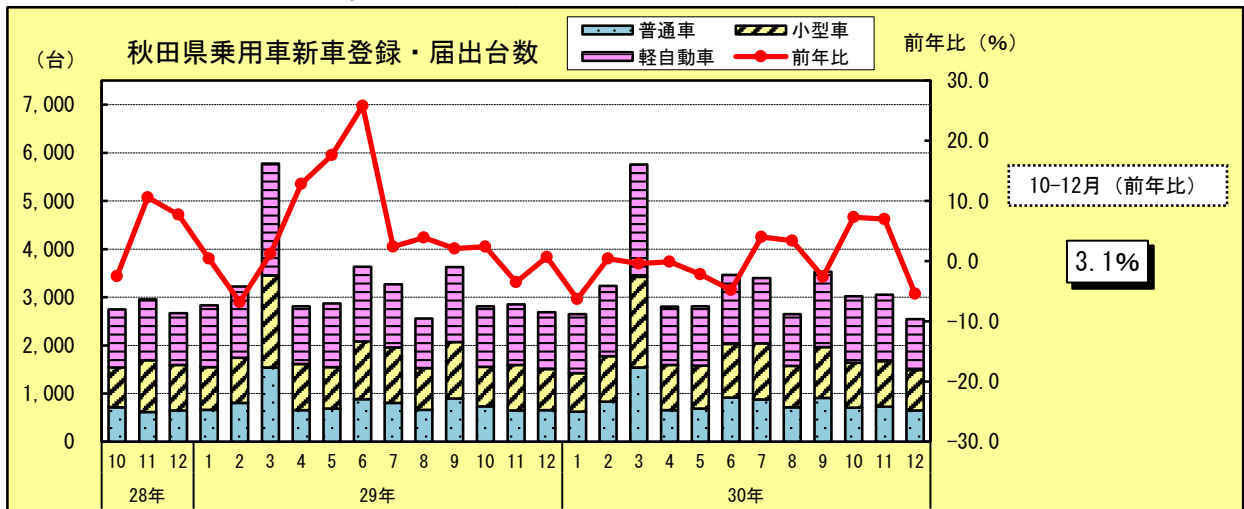
(前年比：%)

区分	全国	東北	秋田県
28年	▲ 1.5	▲ 0.8	0.0
29年	3.1	0.2	▲ 0.2
29. 10-12	3.7	▲ 0.8	0.7
30. 1- 3	2.1	▲ 1.1	0.1
4- 6	2.9	▲ 1.0	0.0
7- 9	0.9	0.8	3.5
30. 7	▲ 1.5	▲ 2.3	1.3
8	▲ 1.6	▲ 2.6	▲ 1.6
9	7.4	9.2	12.8
10	0.1	▲ 2.9	0.2
11	▲ 1.6	▲ 2.5	▲ 0.5

(注) 29年分は年間補正済

【資料出所：経済産業省、東北経済産業局】

(6) 乗用車新車登録・届出台数



『乗用車新車登録・届出状況』

(前年比：%)

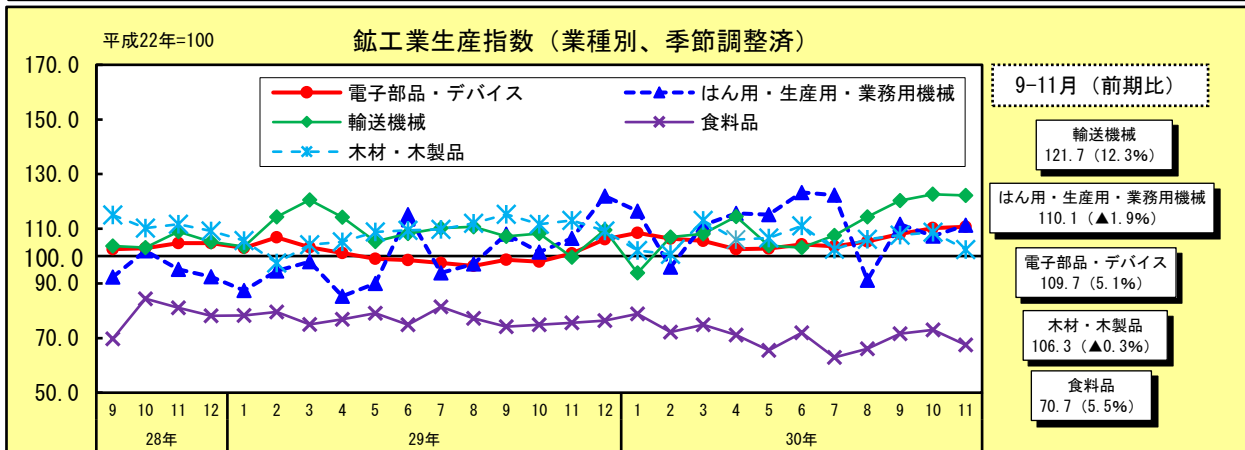
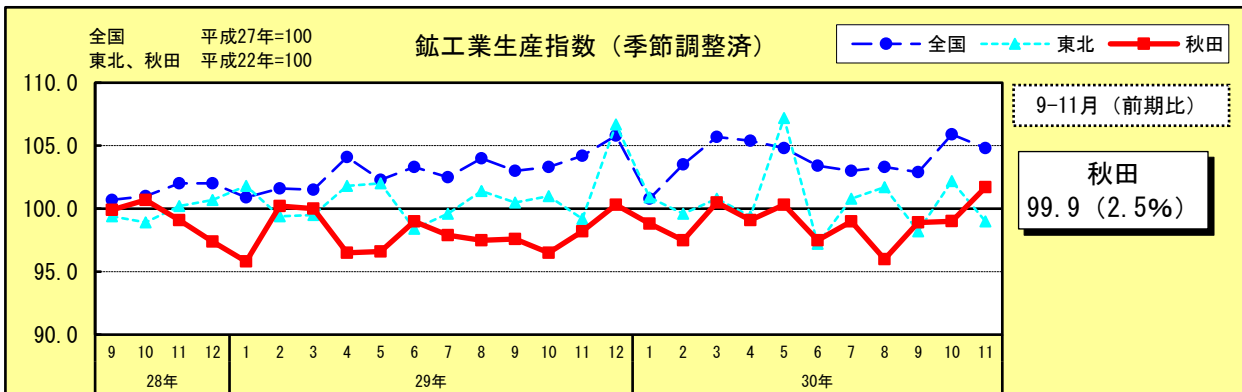
区分	全国	東北	秋田	普通車	小型車	軽自動車
29年	5.8	4.8	4.2	2.4	5.5	4.2
30年	0.1	▲ 0.8	▲ 0.1	2.2	▲ 1.6	▲ 0.3
30. 1- 3	▲ 2.7	▲ 3.5	▲ 1.6	▲ 0.4	▲ 2.8	▲ 1.3
4- 6	▲ 1.8	▲ 3.7	▲ 2.6	1.5	▲ 2.5	▲ 4.8
7- 9	0.9	▲ 0.3	1.3	5.7	▲ 3.5	2.6
10-12	5.1	5.8	3.1	2.5	3.4	3.2
30. 8	4.0	2.8	3.4	7.5	▲ 0.5	3.9
9	▲ 3.3	▲ 3.9	▲ 2.6	2.0	▲ 10.6	0.8
10	11.6	9.7	7.3	▲ 3.4	13.3	9.6
11	7.4	7.0	7.0	12.7	▲ 0.2	9.5
12	▲ 3.3	0.1	▲ 5.4	▲ 0.8	▲ 2.1	▲ 10.3

【資料出所：日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会】

## 2. 生産活動 … 緩やかに持ち直している

電子部品・デバイスは、海外の自動車向けを中心に高水準で推移している。  
 はん用・生産用・業務用機械は、海外向けを中心に堅調となっている。  
 輸送機械は、海外向けが順調であるほか、国内向けで一部に増産の動きがみられ増加している。  
 食料品は、清酒が増加している。  
 木材・木製品は、受注が堅調となっており、高水準となっている。

このように、生産は、緩やかに持ち直している。



『鉱工業生産指数』

（全国は平成27年=100、東北、秋田は平成22年=100 季節調整済指数、年及び前年比は原指数）

区分	全国 指数	東北 指数	秋田		電子部品・デバイス （n=3546.1）		はん用・生産用・業務用機械 （n=1270.8）		輸送機械 （n=694.5）		食料品 （n=626.2）		木材・木製品 （n=462.9）		
			指数	前月(期)比%	前年比%	指数	前月(期)比%	指数	前月(期)比%	指数	前月(期)比%	指数	前月(期)比%	指数	前月(期)比%
28年	100.0	97.6	99.0		0.6	105.7		96.9		100.4		74.4		117.6	
29年	103.1	101.1	98.1		▲0.9	100.7		100.7		109.3		77.3		108.7	
29.10-12	104.4	102.3	98.3	0.6	▲0.6	101.7	4.3	110.0	10.3	105.8	▲3.3	75.6	▲2.6	111.3	▲1.0
30.1-3	103.3	100.4	98.9	0.6	0.0	106.8	5.0	107.9	▲1.9	103.0	▲2.6	75.3	▲0.4	105.2	▲5.5
4-6	104.5	101.3	99.0	0.1	1.6	103.2	▲3.4	118.0	9.4	107.1	4.0	69.5	▲7.7	107.9	2.6
7-9	103.1	100.2	98.0	▲1.0	0.3	105.7	2.4	108.4	▲8.1	114.1	6.5	66.9	▲3.7	105.4	▲2.3
30.7	103.0	100.8	99.0	1.5	2.0	103.6	▲0.7	122.3	▲0.8	107.6	4.4	62.9	▲12.5	102.5	▲7.7
8	103.3	101.7	96.0	▲3.0	▲0.6	105.3	1.6	91.1	▲25.5	114.4	6.3	66.1	5.1	106.1	3.5
9	102.9	98.2	98.9	3.0	▲0.4	108.1	2.7	111.7	22.6	120.3	5.2	71.6	8.3	107.7	1.5
10	105.9	102.2	99.0	0.1	3.4	110.2	1.9	107.3	▲3.9	122.6	1.9	73.0	2.0	108.7	0.9
11	104.8	99.0	101.7	2.7	4.5	110.7	0.5	111.3	3.7	122.2	▲0.3	67.5	▲7.5	102.4	▲5.8

(注) 1. 東北の11月は速報値

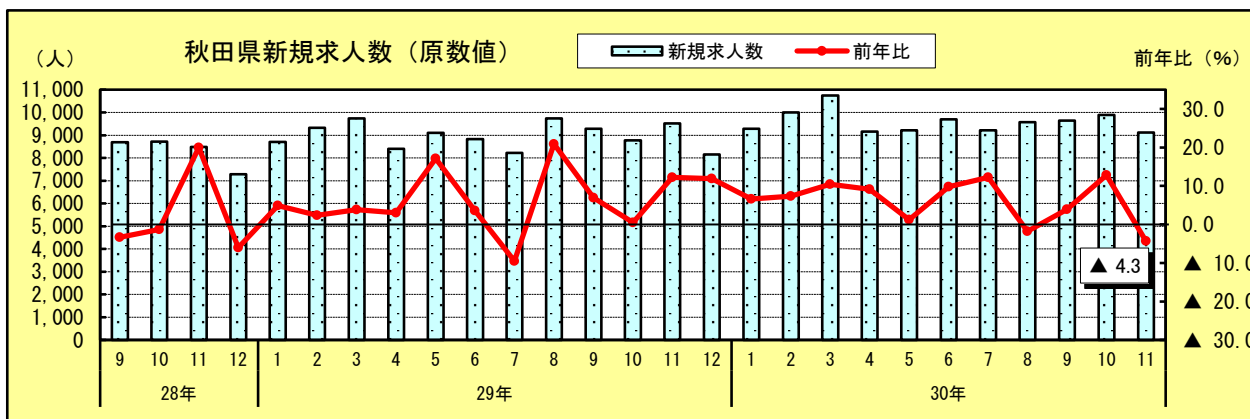
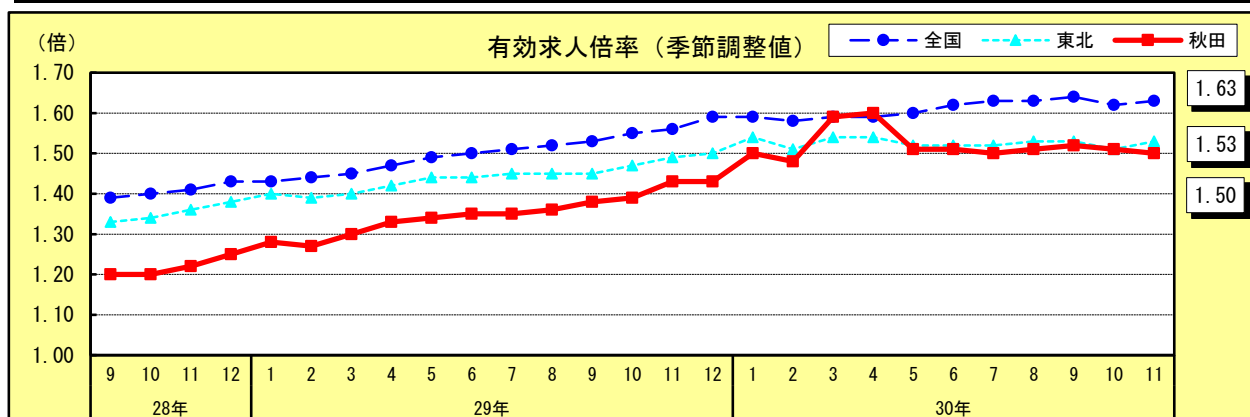
2. 秋田の29年分は年間補正後

【資料出所：経済産業省、東北経済産業局、秋田県】

### 3. 雇用情勢 … 改善している

有効求人倍率は、高水準で推移している。  
 新規求人数は、サービス業、運輸業・郵便業等で増加していることから、前年を上回っている。  
 新規求職者数は、前年を下回っている。  
 雇用保険受給者実人員は、前年を下回っている。

このように、雇用情勢は、改善している。



『一般職業紹介状況』

区分	有効求人倍率 〔季調値〕			新規 求人数	新規 求職者 数	事業主 都合 離職者 数	雇 用 保 険 受 給 者 実 人 員
	全国	東北	秋田				
	倍	倍	倍	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%
28年	1.36	1.31	1.16	2.0	▲ 8.5	0.8	▲ 5.9
29年	1.50	1.44	1.35	6.1	▲ 6.3	▲ 7.8	▲ 8.9
29. 10-12	1.57	1.49	1.42	7.9	▲ 3.6	▲ 14.9	▲ 1.4
30. 1- 3	1.59	1.53	1.52	8.2	▲ 9.2	▲ 11.9	▲ 5.9
4- 6	1.60	1.53	1.54	6.6	▲ 2.2	7.8	▲ 5.8
7- 9	1.63	1.53	1.51	4.4	▲ 6.8	▲ 20.5	▲ 6.3
30. 7	1.63	1.52	1.50	12.2	0.1	▲ 37.0	▲ 3.6
8	1.63	1.53	1.51	▲ 1.8	▲ 8.1	▲ 32.7	▲ 7.6
9	1.64	1.53	1.52	3.9	▲ 11.5	23.8	▲ 7.6
10	1.62	1.51	1.51	12.8	3.7	0.0	▲ 4.7
11	1.63	1.53	1.50	▲ 4.3	▲ 0.4	25.4	▲ 4.8

(注) 1. 新規求人数、新規求職者数は原数値  
 2. 雇用保険受給者実人員は基本手当（延長給付を除く）  
 3. 29年12月以前の有効求人倍率は改定値

【資料出所：厚生労働省、秋田労働局】



#### 4. 設備投資 … 30年度は増加見込み

法人企業景気予測調査（30年10-12月期調査）で見ると、30年度は、**製造業、非製造業**とも増加見込みとなっている。

##### 『設備投資』

（前年同期比増減率：％）

区 分	上期		下期		30年度	
	全 産 業	( 27.4 )	15.9	( 17.9 )	17.7	( 22.0 )
製 造 業	( 61.4 )	31.2	( ▲ 15.2 )	6.6	( 14.3 )	16.1
非 製 造 業	( ▲ 4.6 )	1.5	( 64.5 )	33.2	( 31.1 )	17.9

(注) 1. ソフトウェア投資額を含む、土地購入額を除く

2. ( ) 書きは前回調査結果 【秋田財務事務所「法人企業景気予測調査(30年10-12月期調査)」】

#### 5. 企業収益 … 30年度は減益見込み

法人企業景気予測調査（30年10-12月期調査）で見ると、30年度は、**非製造業**で増益見込みとなっているものの、**製造業**で減益見込みとなっていることから、**全産業**では、減益見込みとなっている。

##### 『経常利益』

（前年同期比増減率：％）

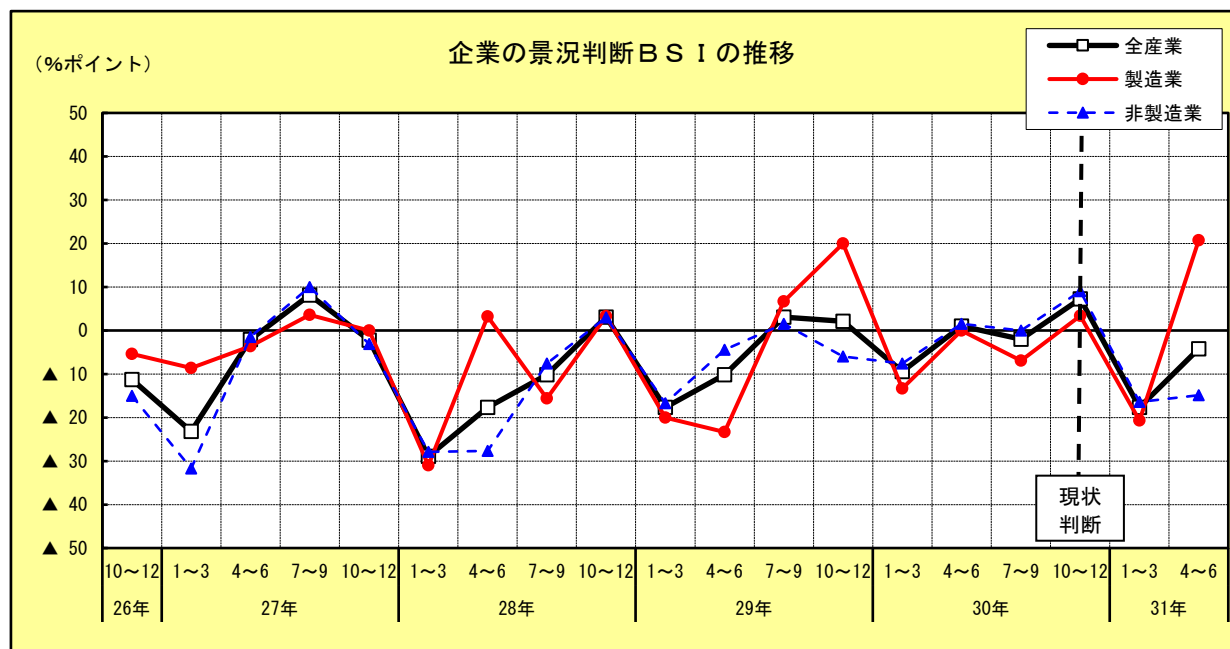
区 分	上期		下期		30年度	
	全 産 業	( ▲ 9.0 )	▲ 7.4	( ▲ 7.3 )	▲ 20.1	( ▲ 8.2 )
製 造 業	( ▲ 10.2 )	▲ 14.9	( ▲ 15.6 )	▲ 26.8	( ▲ 13.0 )	▲ 21.1
非 製 造 業	( ▲ 7.4 )	2.8	( 12.9 )	▲ 3.7	( 0.3 )	0.3

(注) 1. 電気・ガス・水道・金融・保険を除いた計数

2. ( ) 書きは前回調査結果 【秋田財務事務所「法人企業景気予測調査(30年10-12月期調査)」】

## 6. 企業の景況感 … 「上昇」超に転じている

法人企業景気予測調査（30年10～12月期調査）の景況判断BSIで見ると、現状（10～12月期）は、「上昇」超に転じている。  
先行きは、「下降」超に転じる見通しとなっている。



### 『企業の景況判断BSI【原数値】』

(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

(単位: %ポイント)

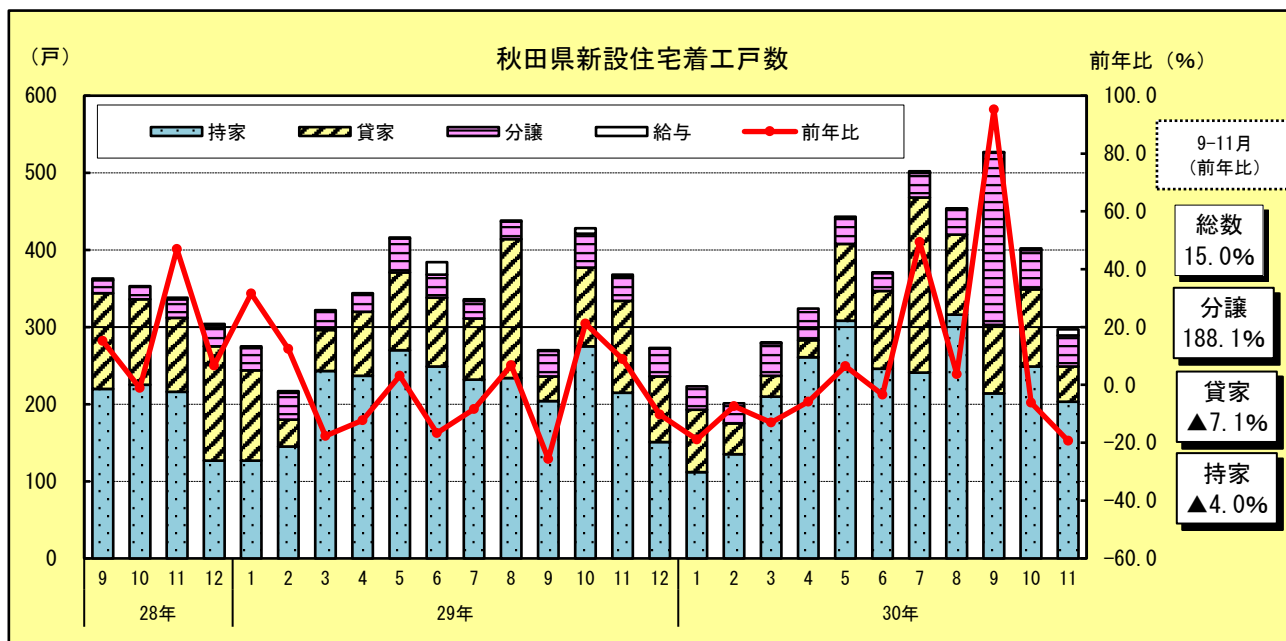
区分	30年7~9月 (30年7-9月期調査)	30年10~12月 現状判断	31年1~3月 見通し	31年4~6月 見通し
全産業	( ▲ 2.0 )	( 8.2 ) 7.3	( ▲ 5.1 ) ▲ 17.7	▲ 4.2
製造業	( ▲ 6.9 )	( 10.3 ) 3.4	( ▲ 3.4 ) ▲ 20.7	20.7
非製造業	( 0.0 )	( 7.2 ) 9.0	( ▲ 5.8 ) ▲ 16.4	▲ 14.9

(注) ( ) 書きは前回調査結果

【秋田財務事務所「法人企業景気予測調査(30年10-12月期調査)」】

## 7. 住宅建設 … 前年を上回っている

住宅建設の動向を新設住宅着工戸数で見ると、持家、貸家は前年を下回っているものの、分譲が前年を上回っていることから、前年を上回っている。



『新設住宅着工戸数』

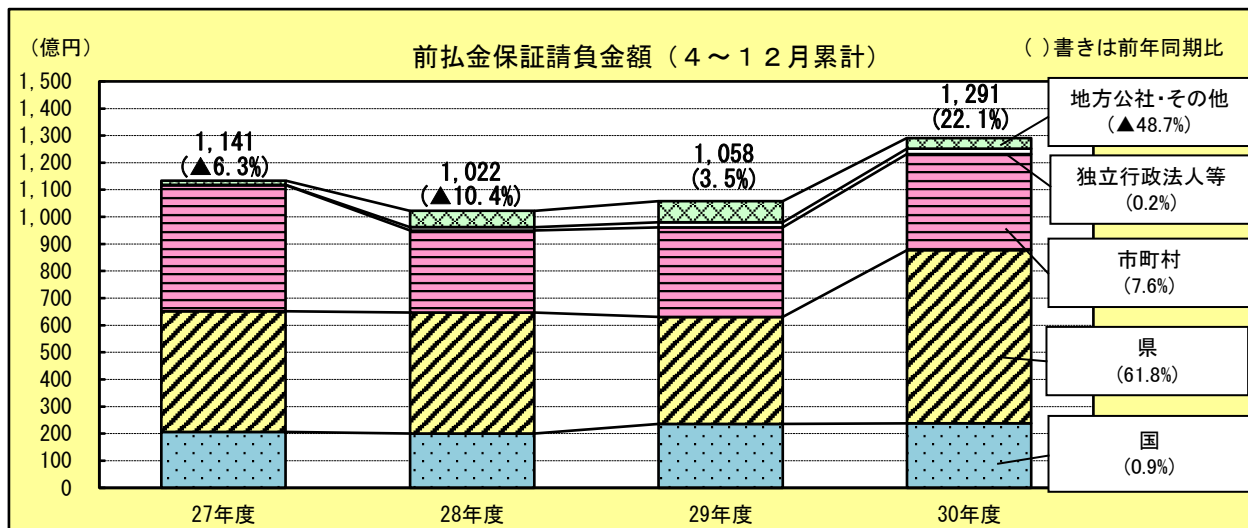
(前年比 : %)

区分	全国	東北	秋田			
			持家	貸家	分譲	
28年	6.4	3.0	8.6	6.7	11.0	18.9
29年	▲0.3	▲7.0	▲2.7	▲3.3	▲4.7	0.0
29. 10-12	▲2.5	▲8.8	7.4	12.9	▲13.8	62.3
30. 1-3	▲8.2	▲2.4	▲13.5	▲11.3	▲27.8	10.1
4-6	▲2.0	▲1.3	▲0.5	7.8	▲18.3	1.0
7-9	▲0.2	▲5.7	42.0	15.1	44.3	264.6
30. 7	▲0.7	▲8.4	49.4	3.9	187.3	39.1
8	1.6	0.8	3.7	35.0	▲42.2	43.5
9	▲1.5	▲8.9	95.2	4.9	178.1	575.8
10	0.3	▲21.2	▲6.1	▲9.5	▲2.0	15.9
11	▲0.6	▲1.8	▲19.3	▲5.6	▲61.3	25.0

【資料出所：国土交通省、秋田県】

## 8. 公共事業 … 前年度を上回っている

公共事業を前払金保証請負金額（平成30年度累計）で見ると、県、市町村、国等で増加していることから、前年度を上回っている。



『前払金保証請負金額』

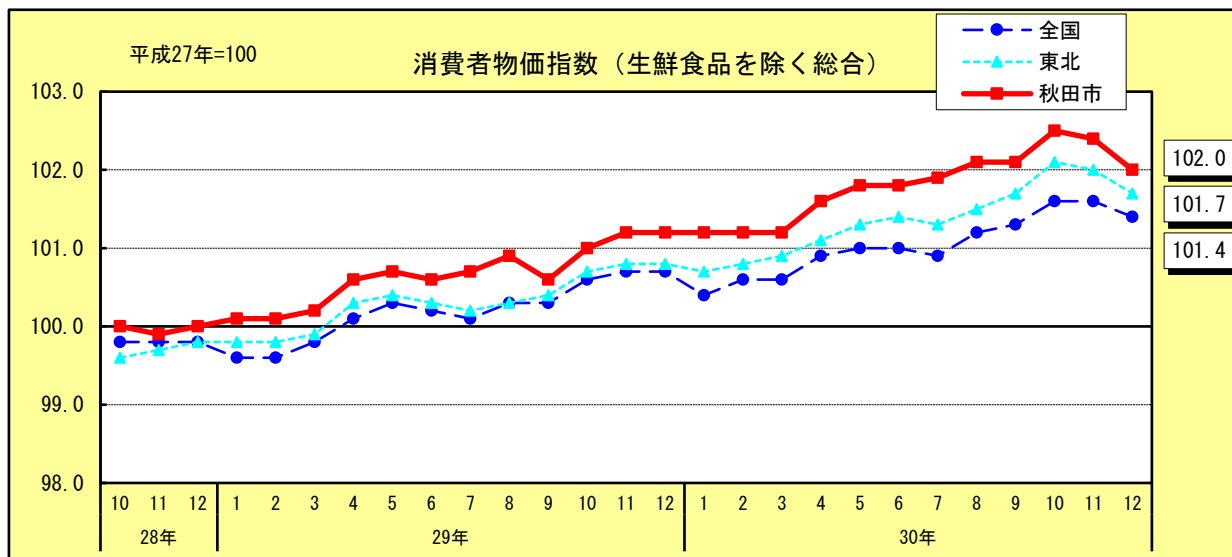
(単位：億円、%)

区分	10月	11月	12月	4-12月 累計
29年度	113	85	38	1,058
30年度	122	70	49	1,291
前年同期比	7.9	▲17.9	28.1	22.1

(注) 10~12月の各月は単月の金額 【資料出所：東日本建設業保証(株)ほか】

## 9. 消費者物価 … 前年を上回っている

生鮮食品を除く総合指数(秋田市)は、光熱・水道、生鮮食品を除く食料等が上昇していることから、前年を上回っている。

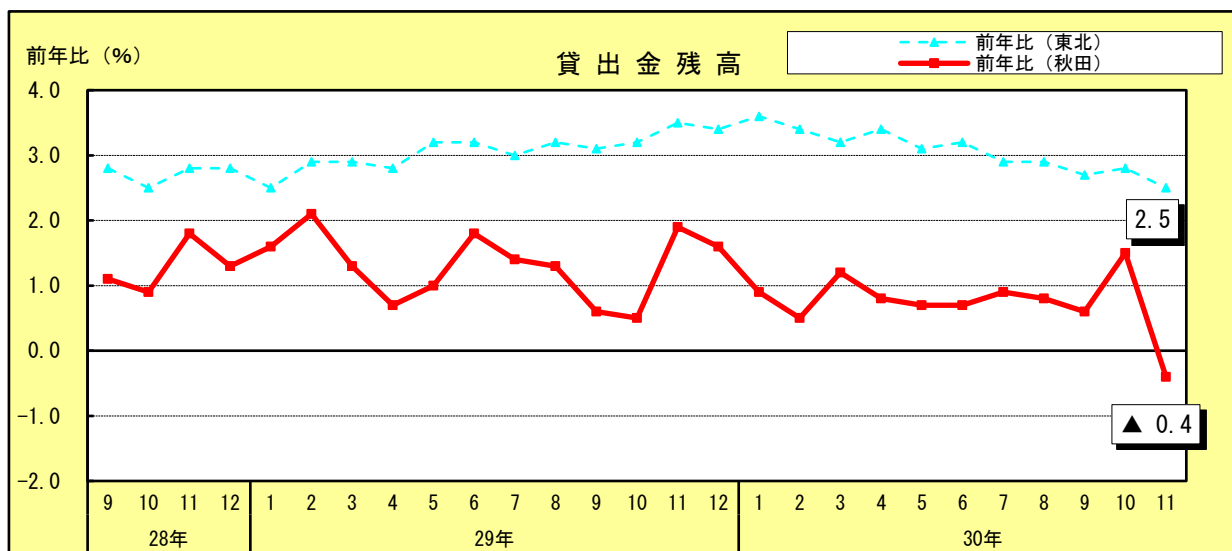


『秋田市消費者物価指数』（平成27年=100）

区分	総合 (生鮮食品除く)	前月比	前年比
29年	100.7	/	0.9
30年	101.8		1.1
30. 1-3	101.2	0.1	1.1
4-6	101.7	0.5	1.1
7-9	102.0	0.3	1.3
10-12	102.3	0.3	1.2
30. 8	102.1	0.2	1.3
9	102.1	0.0	1.5
10	102.5	0.3	1.5
11	102.4	▲ 0.1	1.1
12	102.0	▲ 0.4	0.8

【資料出所：総務省】

# 10. 金融 … 貸出金残高は前年を下回っている

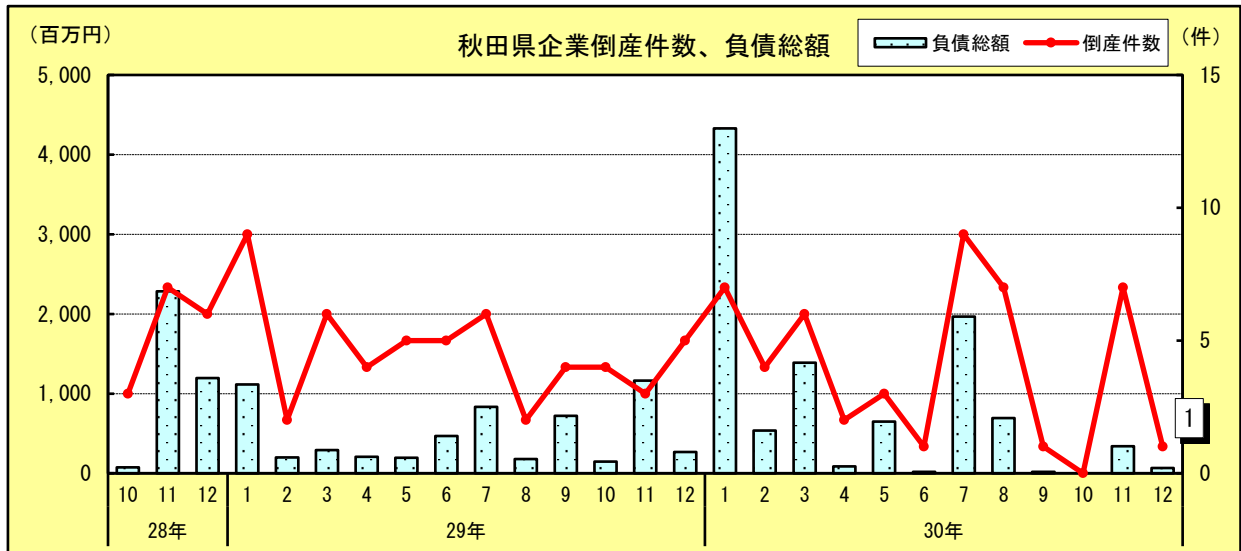


『貸出金残高』 (前年比：%)

区分	東北	秋田
30. 7	2.9	0.9
8	2.9	0.8
9	2.7	0.6
10	2.8	1.5
11	2.5	▲ 0.4

(注) 1. 東北は東北地域に所在する銀行、信用金庫の集計  
 2. 秋田は国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)の秋田県内店舗の集計値  
 【資料出所：日本銀行仙台支店、秋田支店】

# 1.1. 企業倒産 … 件数、負債総額とも前年を下回っている



『企業倒産件数、負債総額』

区分	全国	東北	秋田			
	件数	件数	件数	前年比%	負債総額(百万円)	前年比%
29年	8,405	323	55	▲ 1.8	5,781	▲ 37.6
30年	8,235	358	48	▲ 12.7	10,089	74.5
30. 1-3	2,041	80	17	0.0	6,254	289.4
4-6	2,107	103	6	▲ 57.1	752	▲ 13.6
7-9	2,017	94	17	41.7	2,678	54.8
10-12	2,070	81	8	▲ 33.3	405	▲ 74.3
30. 8	694	40	7	250.0	692	291.0
9	621	24	1	▲ 75.0	19	▲ 97.4
10	730	25	0	▲ 100.0	0	▲ 100.0
11	718	36	7	133.3	340	▲ 70.7
12	622	20	1	▲ 80.0	65	▲ 75.7

【資料出所：(株)東京商工リサーチ】

## 1 2. 最近の県内経済に関する地域の声

### (1) 個人消費

- 年始には帰省客へのおもてなし商材としてお寿司やオードブルなどがよく売れた。  
(スーパー)
- テレビで健康に良いと紹介された商品はいずれも人気であり、中には在庫不足が懸念されるほど売れているものもある。  
(スーパー)
- 冬物衣料は総じて低調。初売りでも売上が伸びなかった。一方、おせちの予約販売は好調であったほか、宝飾品などの高額品にも動きがみられた。  
(百貨店)
- 温かい麺類の売行きが良く、人気店監修のもと販売した商品は特に好評を得ている。また、バリエーションを増やしていることが奏功し、総菜の購買点数も順調に伸びている。  
(コンビニエンスストア)
- 例年より雪の降り始めが遅く、建築資材等の売上が伸びた。一方、除雪機や融雪剤等の除雪用品は動きが鈍かった。ただし、足下では降雪量の増加に伴って除雪用品の売上也伸びつつある。  
(ホームセンター)
- 4K8K衛星放送の開始に合わせて、テレビ本体に加えてチューナーもよく売れたほか、スマートフォンは高単価な新型機種が初売りにおいてもよく売れた。また、冬に備えて寒冷地仕様エアコンを購入する顧客も多かった。  
(家電販売)
- 新機能への認知度の高まりなどから、これまでの購買層ばかりでなく若い世代からも注目される車種の販売台数が伸びてきており、今後も積極的に販売していきたいと考えている。  
(自動車販売)

### (2) 生産活動

- 自動車向けは引き続き好調であるが、増勢にやや落ち着きもみられる。今のところ一時的ではないかと考えているが、今後の動向を注視している。  
(電子部品・デバイス)
- 他社と共同開発したコストパフォーマンスの良い製品の受注が引き続き好調である。  
(はん用・生産用・業務用機械)
- 海外向けは引き続き順調。国内向けは一部大型車向けで生産が増えている。  
(輸送機械)

### (3) 雇用情勢

- 有効求人倍率が高水準で推移しているなど、人手不足の状況に変わりはない。こうした中、技術者の確保のため、官民が連携し積極的に学校等で業務説明を実施した結果、昨年よりも新卒採用者が増加するなどの効果が表れた事例もある。引き続き人手不足の解消に向けた取組を進めていきたい。  
(公的機関)